

1. アンケート分析結果

「設問 5. 授業の内容を十分に理解できましたか」では平均 4.16（標準偏差 0.8）、「設問 12. 総合的に見てこの授業で力をつきましたか」では平均 4.26（標準偏差 0.9）であり、学生にとって有意義な授業が実施できていたことがわかる。「設問 3. 授業 1 回に対し宿題を含めた予復習を何時間しましたか」では平均 2.44（標準偏差 1.5）であり、自学自習時間を確保できていたといえる。全体として例年と大きな差異はなく、学科として適切な授業を実施できていると考える。

アンケートの回収率は低く、受講者 64 名中 6 名しか回答しなかった科目もあった。紙で配布する以前のアンケート形式とは異なり、WebClass にわざわざアクセスしなければ回答できないことが、回収率の低さの一因となっている可能性がある。

2. 学科の教育改善検討会議の概要報告

(1) 教育改善について

- ・ 科目を担当してまだ 2 年目の科目ではコンテンツも改善中であり、学問的にも難しい科目であるため、今後工夫をしていく。演習を増やしたり、細部を減らしたりするなど。
- ・ 再履修科目において、少人数で反転授業を行ったところ、最終的には科目内容を理解するまでに至り、高い教育効果があったと考えられる。少人数だからこそできた授業形態であるが、今後の授業運営の参考になった。
- ・ 居眠りをしていた学生数はアンケート回答結果よりも多かった印象がある。授業への参加態度が周囲に影響しないよう配慮する必要がある。
- ・ 1 年科目では、話をまったく聞いていない学生が一定数いる。そのようなとき、あらためて教科書で確認するような学生も少ない。学生の傾向が変わってきていると感じられる。
- ・ SD-PBL(3)については「価値がまったくない」「準備不足」といったネガティブな意見が多かった。今後は「きちんと意味や方向を説明してはどうか」と提案したい。
- ・ TA が多くついた科目では質問対応もできており、アンケート結果もよかった。引き続き充実した TA 雇用のための支援をお願いしたい。
- ・ 学生の不正行為については教員側から是正のための取り組みが必要。
- ・ 「PowerPoint のようなまとめ資料がないと勉強できない／理解できない」などの意見が複数見られたので、今後は配布資料を準備したい。

以上